

## 2013年度第1回見学会報告

細川 哲也

HOSOKAWA Tetsuya

2013年6月21日(金), JALの整備部門を担う(株)JALエンジニアリングのエンジン整備センター, 及び成田航空機整備センターにおいて, 今年度第1回の見学会が開催された(共に千葉県 成田国際空港内)。当日は36名の参加者が得られる盛況であった。参加資格を学会員に限定しなかったため, 参加者の内訳は正会員:21名, 非会員:10名, 学生会員:3名, 学生非会員:2名となり, 非会員の方からの参加も多数あった。

見学会は13時に成田空港第2ターミナルビルに集合し, バスで機体整備場へ移動, 機体整備の様子を3グループに分かれて見学した。待ち受けていたのはJALに納入されたばかりの最新鋭機787型機であり, 最新のGENxエンジンが2発搭載されており, その特徴的なうねりを持つファン動翼前縁の形状, エンジンナセル後部のシェブロンノズルの波形の形状などを間近に確認することができた。1時間ほどの787機体見学では, 参加者全員がそのスケールの大きさと最新の技術の説明を満喫した。(写真1, 3)。

次に, 徒歩でエンジン整備センターへ移動, 会議室にてエンジンの整備について概要説明(写真2)を受けた後, 3グループに分かれての工場見学となった。各グループには説明者がつき, CF6, PW4000, GE90などのジェットエンジンの分解・検査・補修・再組立など一通りの工程を丁寧な解説を聞きながら, 約2時間をかけて見て回った。

大きなエンジンが工場内のレールで吊されながら移動し, ファンやタービンといったモジュールに分割され, さらにブレード, ベーンといった部品レベルにまで分解されて整備されてゆく状況を間近で見ることができ貴重な体験であった。さらに, 整備を終えたエンジンを運転試験するテストセルについても見学することができ, 会議室に戻ってからの質疑応答でも活発なやりとりが行われ非常に充実したものであった。質疑応答後, JALエンジニアリングの方々に見送られ, 名残惜しい中バスで整備センターを後にし, 見学会を終了した。

最後に, 本見学会の実施に多大なご協力をいただいた(株)JALエンジニアリングの関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

(集会行事委員会委員)



写真2 エンジン整備の概要説明



写真1 機体整備場を見学中の参加者



写真3 集合写真